

事例 9 集約化試験団地における造林事業の省力化・低コスト化に資する取組

(四国森林管理局 森林技術・支援センター)



- しおのえちよう たかやま
・香川県高松市塩江町 鷹山国有林
・早生樹の造林技術の確立試験
(令和3(2021)年10月)



- あがわぐん つづらたにくろたきやま
・高知県吾川郡いの町 葛籠谷黒滝山国有林
・現地検討会の様子
(令和5(2023)年10月)

四国森林管理局では、造林に関する各種課題解決に向けた試験地を集約し、試験結果を関係者へ効率的・効果的に普及できる「見える化した試験地」として、香川森林管理事務所管内と嶺北森林管理署管内に集約化試験団地を2か所に設置しました。

この集約化試験団地においては、造林事業の省力化・低コスト化に資する、①早生樹の造林技術、②地拵え省略時の成長調査、③大苗と施肥による造林、④下刈り時期の検証、⑤獣害対策の検証といった5種類の試験を実施しており、令和7(2025)年度にこれら試験結果を取りまとめることとしています。

令和5(2023)年度は、これまでの中間とりまとめとして、各調査データを集計・分析し、研究機関等の意見を踏まえた報告書を作成・公表しました。また、嶺北森林管理署管内の試験地で現地検討会を2回開催し、林業関係者など延べ91名が参加し意見交換を行い、「1か所に様々なタイプの試験地がまとまっていて、それぞれの成果が一度に見学できる」などの意見が聞かれました。

引き続き、当試験団地での調査研究を行い、造林事業の省力化・低コスト化に取り組んでいきます。

技術の開発・普及

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/gyoumu/gijutu/torikumi.html>

